

—なぜ？ どうして？ から授業は始まる—

|             | 1   | 2 | 3 | 4 | 5   | 6 | 7 | 8   | 9 | 10 | 11 | 12  | 13 | 14 | 15 | 16  | 17  | 18   | 19 | 20 | 21    | 22 | 23  | 24 | 25 | 26 | 27  | 28  | 29  | 30 | 31 | 32 | 33 |
|-------------|-----|---|---|---|-----|---|---|-----|---|----|----|-----|----|----|----|-----|-----|------|----|----|-------|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 1<br>年<br>生 | 国 語 |   |   |   | 社 会 |   |   | 数 学 |   |    |    | 理 科 |    |    |    | 音 楽 | 美 術 | 保健体育 |    |    | 技術・家庭 |    | 英 語 |    |    |    | 道 徳 | 総 合 | 学 活 |    |    |    |    |
|             | 5   |   |   |   | 3   |   |   | 5   |   |    |    | 4   |    |    |    | 1.3 | 1.3 | 3    |    |    | 2     |    | 5   |    |    |    | 1   | 1.4 | 1   |    |    |    |    |
| 2<br>年<br>生 | 国 語 |   |   |   | 社 会 |   |   | 数 学 |   |    |    | 理 科 |    |    |    | 音 楽 | 美 術 | 保健体育 |    |    | 技術・家庭 |    | 英 語 |    |    |    | 道 徳 | 総 合 | 学 活 |    |    |    |    |
|             | 5   |   |   |   | 3   |   |   | 5   |   |    |    | 4   |    |    |    | 1   | 1   | 3    |    |    | 2     |    | 5   |    |    |    | 1   | 2   | 1   |    |    |    |    |
| 3<br>年<br>生 | 国 語 |   |   |   | 社 会 |   |   | 数 学 |   |    |    | 理 科 |    |    |    | 音 楽 | 美 術 | 保健体育 |    |    | 技術・家庭 |    | 英 語 |    |    |    | 道 徳 | 総 合 | 学 活 |    |    |    |    |
|             | 5   |   |   |   | 4   |   |   | 5   |   |    |    | 4   |    |    |    | 1   | 1   | 3    |    |    | 1     |    | 5   |    |    |    | 1   | 2   | 1   |    |    |    |    |

ここがポイント！

1単位時間55分授業

- 導入からまとめまで、とことん探究できる授業
- 自分で考え、友達と協働で解決できる授業
- 自分のことばでまとめて表現できる授業

課題解決型授業

- 生徒が自ら課題を見つけ、調べ、考え、他者と協働しながら課題の解決を目指す学習
- 挑戦や失敗から学ぶ授業

学習にあわせた授業形態

- 一人一台端末の活用
- 進度や理解度に応じた課題提示、復習・発展学習

充実した学習支援

- 単元テストで理解度確認 = テストは順位付けのためではなく理解度を確認するツール
- 単元テスト後は学習面談でフォロー = 学習方法の見直し
- チームティーチング=英語、数学、国語

ここもポイント！

探究WEEK

- 年4回（5、6、10、2月）に3日間ずつ探究WEEKが設定されています。探究WEEKでは、生徒が興味・関心をもった内容から自分たちで設定した学習課題にとことん取り組みます。課題解決のためのフィールドワークや協働作業、学習成果発表なども行います。生徒主体の学びの期間で、生徒は教科で学んだことを横断的に活用し、課題解決のためにじっくり探究します。

+α（プラスアルファ）タイム

- 毎週火曜日7時間目は、生徒の「学び直し」の時間が設定されています。毎日の授業や自分の学びの中で生まれた疑問やもう一度学習したいことを、生徒同士で教え合ったり、先生に質問したりして解決できる時間です。また、生活や学習に関する面談を級監（担任）と行うこともでき、悩みや不安を解消できる時間です。

ICT環境

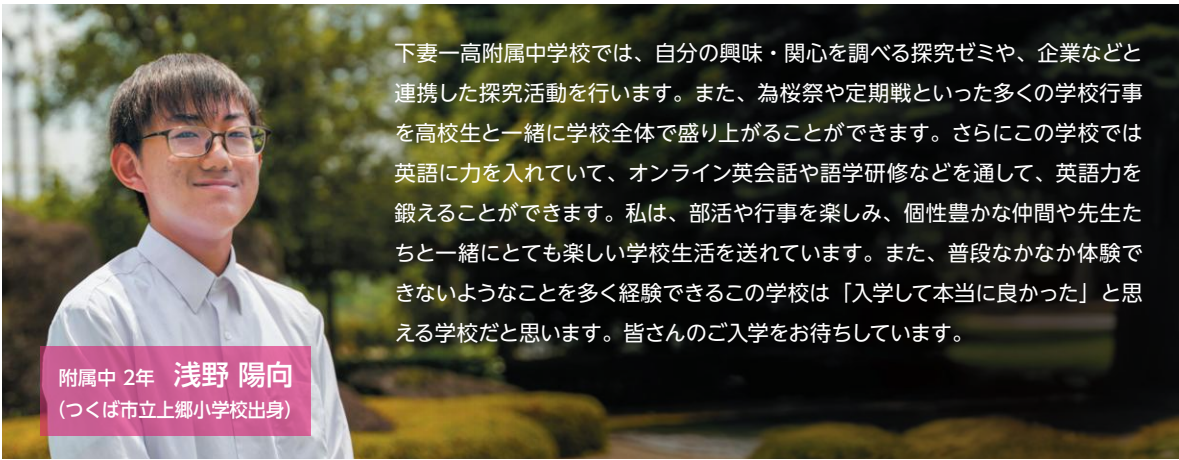
- 生徒には、1人1台Chrome bookが貸与されます。生徒は、毎日の学校生活や授業内で存分に活用することができます。授業内では、データを共有し協働学習に取り組んだり、意見交換ツールとして活用したり、プレゼンテーションや課題の提出等、様々な場面で使用するので、学校生活に欠かせない学習ツールの1つです。校内は、Wi-Fi環境が整備されているので、どこでも利用可能です。Chrome bookは原則持ち帰り、家庭学習や課題の提出でも活用します。



日課表

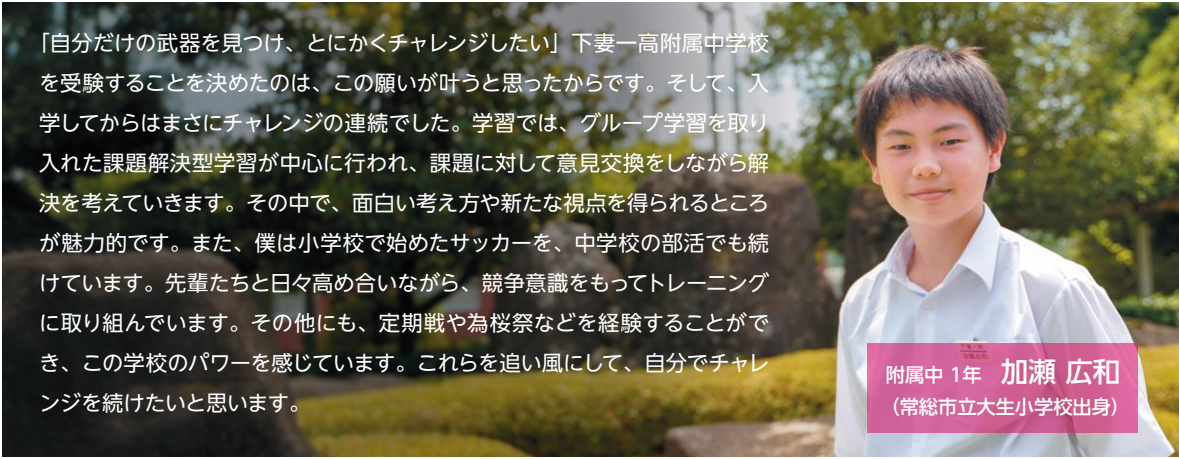
- 予鈴 8:20
- SHR 8:25-8:35
- 1限目 8:40-9:35
- 2限目 9:45-10:40
- 3限目 10:50-11:45
- 昼食 11:45-12:25
- 予鈴 12:25
- 4限目 12:30-13:25
- 5限目 13:35-14:30
- 6限目 14:40-15:35
- 7限目 15:45-16:35 ※火曜日のみ
- SHR・清掃 15:35-15:55
- 下校 部活動

生徒の声



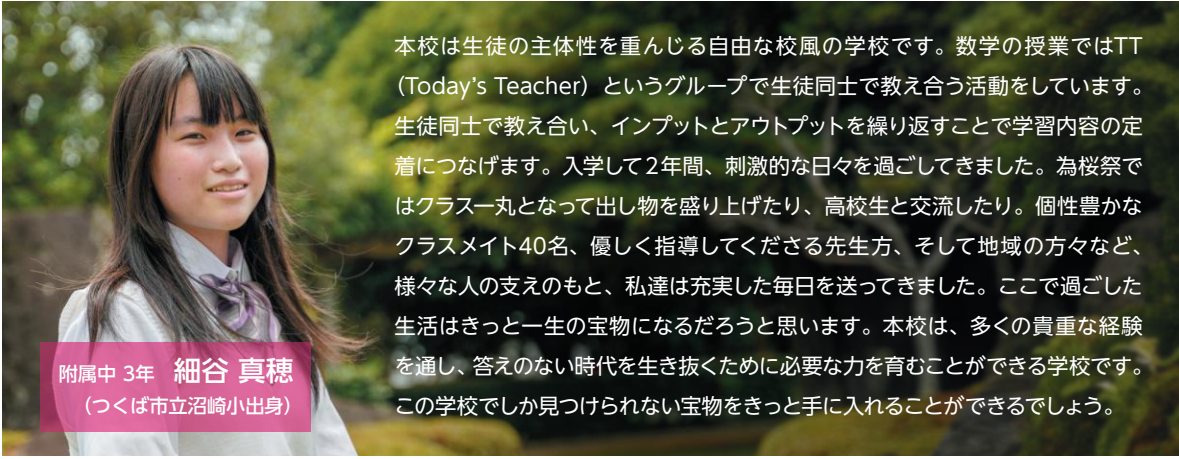
附属中 2年 浅野 陽向  
(つくば市立上郷小学校出身)

下妻一高附属中学校では、自分の興味・関心を調べる探究ゼミや、企業などと連携した探究活動を行います。また、為校祭や定期戦といった多くの学校行事を高校生と一緒に学校全体で盛り上げることができます。さらにこの学校では英語に力を入れていて、オンライン英会話や語学研修などを通して、英語力を鍛えることができます。私は、部活や行事を楽しみ、個性豊かな仲間や先生たちと一緒にとても楽しい学校生活を送れています。また、普段なかなか体験できないようなことを多く経験できるこの学校は「入学して本当に良かった」と思える学校だと思います。皆さんのご入学をお待ちしています。



附属中 1年 加瀬 広和  
(常総市立大生小学校出身)

「自分だけの武器を見つけ、とにかくチャレンジしたい」下妻一高附属中学校を受験することを決めたのは、この願いが叶うと思ったからです。そして、入学してからはまさにチャレンジの連続でした。学習では、グループ学習を取り入れた課題解決型学習が中心に行われ、課題に対して意見交換をしながら解決を考えていきます。その中で、面白い考え方や新たな視点を得られるところが魅力的です。また、僕は小学校で始めたサッカーを、中学校の部活でも続けています。先輩たちと日々高め合いながら、競争意識をもってトレーニングに取り組んでいます。その他にも、定期戦や為校祭などを経験することができ、この学校のパワーを感じています。これらを追い風にして、自分でチャレンジを続けたいと思います。



附属中 3年 細谷 真穂  
(つくば市立沼崎小出身)

本校は生徒の主体性を重んじる自由な校風の学校です。数学の授業ではTT（Today's Teacher）というグループで生徒同士で教え合う活動をしています。生徒同士で教え合い、インプットとアウトプットを繰り返すことで学習内容の定着につなげます。入学して2年間、刺激的な日々を過ごしてきました。為校祭ではクラス一丸となって出し物を盛り上げたり、高校生と交流したり。個性豊かなクラスメイト40名、優しく指導してくださる先生方、そして地域の方々など、様々な人の支えのもと、私達は充実した毎日を送ってきました。ここで過ごした生活はきっと一生の宝物になるだろうと思います。本校は、多くの貴重な経験を通し、答えのない時代を生き抜くために必要な力を育むことができる学校です。この学校でしか見つけれない宝物をきっと手に入れることができるでしょう。

